

次世代経営者養成コース（第3期）

日程

全21日
(3日×7回)

- ① 2026年 4月22日(水)～ 24日(金)
- ② 2026年 5月20日(水)～ 22日(金)
- ③ 2026年 6月24日(水)～ 26日(金)
- ④ 2026年 7月28日(火)～ 30日(木)
- ⑤ 2026年 8月19日(水)～ 21日(金)
- ⑥ 2026年 9月9日(水)～ 11日(金)
- ⑦ 2026年10月27日(火)～ 29日(木)

会場

中小企業大学校九州校
(福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター)

受講料

225,000円(税込)

定員

20名

自立した発想と行動力を身に付ける！

企業が厳しい経営環境に柔軟に対応しながら発展し続けるためには、組織の要となる経営者が会社全体を横断的に見渡すリーダーとして自立した発想と行動力を身につけ、ビジョンを実現する経営戦略とさまざまな管理手法を効果的に実践することが求められます。

本研修では、革新のキーパーソン＝次世代経営者が習得しておくべき経営戦略とマネジメントの視点や手法を理解し、自社の革新的な未来像や戦略・プランを構築・実践していくための手順やポイントについて体系的に学びます。



研修の特色

- ①次世代経営者として必要なスキルなどを体系的に学ぶことができ、発想や行動力が身に付くカリキュラム構成です。
- ②学んだ内容を自社で実践し、振り返ることができるインターバル期間を設定しています。
- ③実践力を養うための、演習、グループディスカッション、ケーススタディ等受講者参加型の多様なプログラムを用意しています。
- ④ゼミナールでは、担当講師によるきめ細かな指導のもと、自社の経営計画等の策定に取り組むことで、経営戦略等の立案能力が身に付きます。
- ⑤他社との意見交換や交流を通じて、幅広い見識の習得や人的なネットワーク形成が可能です。

カリキュラム構成

経営管理者としての能力の向上

- ◆経営管理者の役割と能力 ◆DX推進
- ◆先進事例の研究 ◆人材採用 他

経営マネジメント手法実践法の習得

- ◆経営戦略・経営計画 ◆人材マネジメント
- ◆財務分析・経営体質強化 ◆マーケティング 他

ゼミナール(自社課題の解決)

- 1.自社の現状分析 2.課題の抽出 3.改善策の検討
- 4.プランの作成 5.発表会



受講生間で情報交換人的ネットワーク形成

次世代経営者へ！

講師紹介(ゼミナール担当)

清永 誠(きよなが まこと)

株式会社ヒューマンリソース・デベロップメント 代表取締役社長

1985年、三井ハイテック(北九州市)に入社し、ICリードフレームの製造、品質管理などを行う。その後、人材派遣の営業などを経て、地元オーナー企業(製造系中小企業)に入社し、営業実務、生産管理などを経験。1995年、多角経営に失敗し、倒産の危機にあった同社を再建。中長期経営計画立案と実践(人づくり・やる気づくり・生産管理と品質管理強化・技術開発等)、自動車産業への参入を果たし、オーナー家へ事業承継。2015年6月、『至誠塾』を立ち上げ、地元の中小企業経営者を対象に高い志を持つ、“人”中心の経営を指導。同年10月より現職。早稲田大学大学院情報生産システム研究科修士(工学)。



青木 道生(あおき みちお)

アジア太平洋マネジメント 代表

立命館アジア太平洋大学卒。地方銀行を経て独立。専門は、「銀行融資」に焦点を当てた中小零細企業・ベンチャー企業向けの経営コンサルティング、財務、経営企画書の立案、策定。銀行融資の基準やポイント等の要素を知り、融資案件全体の「組立」にも精通。中小零細企業・ベンチャー企業と金融機関との架け橋として活躍中。



永易 大樹(ながやす ひろき)

ながやす労務経営 代表

特定社会保険労務士/中小企業診断士/修士(経営学)
福岡県出身。国内化学メーカーに20年以上勤務し、化学品の輸出入、グループ会社の会計及び総務を担当し、採用・労務管理を始め、会社運営に関わる管理業務全般を経験。在職中、通関士(有資格)、社会保険労務士、中小企業診断士を取得。郷里の福岡に戻り、個人事務所を開業。地元及び東京の企業に人事労務コンサルティングを行っている。



大山 昇(おおやま のほる)

合同会社楽々屋 代表

中小企業診断士、ITコーディネータ。大企業向けパッケージソフトウェアベンダーでバックオフィスシステムの開発に従事。製品責任者を務めた後、大手製造業に転じ、生産管理や見える化などの情報システムの企画・導入・運用に携わる。独立開業後は、ITを軸にした生産性向上や業務改善などの支援を数多くの中小企業に対して提供しており、現場で培った経験をもとに、豊富な事例を交えたセミナーにも数多く登壇している。



カリキュラム概要

第1回

経営管理者の役割

4月22日(水)～24日(金)

- 1.経営者に求められる役割と能力
企業経営に必要な視点と考え方 他
- 2.先進的な企業の事例研究
経営者が持つべき視点と心構え 他
- 3.経営戦略の立て方と進め方
経営理念と経営戦略 他

第5回

マーケティングと営業活動

8月19日(水)～21日(金)

- 1.マーケティングと営業活動の進め方
・マーケティング戦略の構築
・新規顧客獲得、既存顧客との関係維持強化
・営業活動の標準化 他
- 2.ゼミナール ③
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第2回

財務会計と財務分析

5月20日(水)～22日(金)

- 1.財務分析と経営体質の強化策
・決算書の読み方と財務分析の進め方
・利益計画と資金調達計画の立て方
・財務分析の実際(演習)ケーススタディ 他
- 2.ゼミナールオリエンテーション

第6回

デジタル化とイノベーション

9月9日(水)～11日(金)

- 1.デジタル化とイノベーション
・中小企業のデジタル化、DX化の現状と課題
・ITツール体験、事例研究 他
- 2.ゼミナール ④
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第3回

企業経営のしくみ

6月24日(水)～26日(金)

- 1.企業経営のしくみ
(戦略マネジメントゲーム)
・企業経営の基礎知識
・計数感覚の養成
・模擬経営を通して学ぶ業績の向上策 他
- 2.ゼミナール ①
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

第7回

人材採用力向上

10月27日(火)～29日(木)

- 1.採用でお悩みの中小企業者を支援する
人材採用力向上
自社の採用課題の整理／目標設定他
- 2.ゼミナール⑤
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討
- 3.ゼミナール⑥
研究課題発表会

第4回

人材マネジメントと組織

7月28日(火)～30日(木)

- 1.人材マネジメントと組織
・労働法に関する基礎知識
・主体性が高まる組織づくりの進め方
・人材採用と社員の定着化他
- 2.中小企業支援施策の活用方法
- 3.ゼミナール ②
自社課題の解決に向けた戦略、実行計画の検討

受講者の声(九州校 第2期)



橋本興産株式会社
取締役営業部長 橋本 明子 さん

◆受講動機

外部企業での勤務を経て、Uターンで会社に入ってから2年程度経過し、経営幹部である母からも将来社長になる上で必要な知識を体系的に学ぶ必要性を説かれており、様々な経営者研修を探していた際、次世代経営者養成コースのカリキュラムが経営全般を体系的に学べる内容で、自身が必要とする内容とマッチしていたため、受講を決めました。

◆実際に受講した感想

講義で学んだ内容は新鮮で面白いものが多かったです。例えば、財務については、元々金融機関に勤務していたため、ある程度財務の知識があり、自社の財務も大まかに把握しているつもりでしたが、講義を受けて、自社

の現状を正確に見極め、重点的に管理すべき事項も明確になり、より定量的な観点での自社の現状についての理解が進みました。

また、ゼミナールでは、他の受講者の自社・自己分析が想定より深く、自分にとっては良い刺激になりました。数年後、事業承継のタイミングを控える状況で、後継者として今後準備すべき事項や社長就任までのロードマップについて考えを突き詰める必要性を強く認識できました。

◆受講推薦の言葉

私のような、後継者の方には、自分の悩みを共有できる貴重なネットワークの構築につながるので、是非受講してほしいです。自社にいとやかなか話せない後継者特有の悩みも、似た境遇の受講者が多く集まるこの研修では、気兼ねなく話せる機会になると思います。

また、後継者に限らず、会社を支える管理者層にとっても有用な内容であると思うので、将来の経営幹部として会社の中核を担いたい方も受講することをお勧めします。

日程
全18日
(3日×6回)

- ① 2026年 6月17日(水)～19日(金)
- ② 2026年 7月22日(水)～24日(金)
- ③ 2026年 8月26日(水)～28日(金)
- ④ 2026年 9月16日(水)～18日(金)
- ⑤ 2026年 10月21日(水)～23日(金)
- ⑥ 2026年 11月18日(水)～20日(金)

会場

中小企業大学校九州校
(福岡県福岡市博多区綱場町2-1 博多FDビジネスセンター)

受講料

182,000円(税込)

定員

20名

生産管理の実践力を磨き、工場の体質強化を実現する管理者へ！

工場管理者には、工場の管理・運営についての幅広い知識を習得し、現場でうまく周囲を巻き込みながら、改善活動を行うことが必要となります。

本研修では、工場管理に必要とされる体系的な知識及び手法を習得し、演習や課題研究等の実践的なプログラムを通じて、顧客の求める品質(Q)、原価(C)、納期(D)を満たすための効率的な工場管理とその運営ポイントを把握し、実践力と総合力のある工場管理者の養成を目指します。



研修の特色

①体系的なカリキュラム

- ・ 演習やグループディスカッションを交え、生産管理の基礎知識から実践的手法まで学べます。
- ・ 学んだ内容を即、自社で展開して実際に活用していただけるようにインターバル期間を設けています。

②少人数制のゼミナールとレポート発表会

- ・ 実践経験豊富な講師の指導のもと、自社課題テーマの改善策を策定・実践に取り組んでいきます。
- ・ レポートの発表会には派遣元企業にもご参加いただき、受講生の取り組みや成長を確認できます。

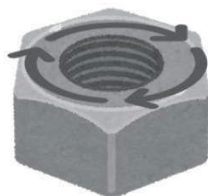
③人的ネットワークの形成

- ・ 受講生同士の意見交換や交流を通じて、視点や考え方が広がり人的ネットワークを形成することができます。

カリキュラム構成

工場管理の基本と 現場改善手法の習得

- ・ 工場管理の基本と工場管理者の役割
- ・ 5Sの進め方
- ・ 生産現場の改善手法
- ・ 原価管理・コストダウンの方法
- ・ 品質管理の進め方
- ・ 生産計画と生産統制
- ・ IT活用による生産性向上策



ゼミナール (自社課題の解決)

- ・ 自社の現状分析
- ・ 課題抽出
- ・ 改善策の検討
- ・ アクションプランの作成と実施
- ・ 発表会(レポート発表)

受講生間で情報交換
人的ネットワーク形成

工場全体の視点から生産現場の体質強化へ挑戦！

講師紹介(ゼミナール担当)

北村 正良(きたむら まさよし)
中小機構 中小企業アドバイザー(経営支援)

大手金属加工メーカーでは生産技術、大手住宅設備メーカーでは製造、購買、事業企画等に携わってきた。
現在は九州本部 中小企業アドバイザーとしてハンズオン支援事業を担当。主に現場改善、生産管理、原価管理、物流改善やシステム導入などのテーマに取り組んでいる。



西田 正則(にしだ まさのり)
にしやん 代表

大手住宅メーカーの工場にて、生産管理から、製造、品質管理と経験し、プロパー初の工場長を務める。
TPS(トヨタ生産方式)の実践やISO取得を推進し、様々な改善活動を実施。早期退職後は、地場の中小企業の支援を「改善パートナー」として5Sから「見える化」を進めて、改善につなげている。
最近では、改善のデジタル化として、ITやIoTにも取り組んでいる。



矢嶋 博文(やなる ひろふみ)
中小機構 中小企業アドバイザー(経営支援)

大手総合電機メーカーでパソコン・日本語ワープロのソフト開発に従事後、別の大手総合電機メーカーの九州拠点でソフト技術者として勤務。生産技術課長、海外工場長、製造部長を歴任し、製造・品質・開発に精通している。
現在は九州本部 中小企業アドバイザーとして生産工程スマート化診断やハンズオン支援事業で5S活動支援や自動化に向けた生産工程分析等の製造現場の改善活動支援を担当している。



加藤 圭示(かとう けいじ)
中小企業診断士事務所きづきの 代表

金型メーカーにて工場立ち上げ、技術開発、情報システム構築等に携わった後、中小企業診断士として独立。独立後は、中小企業を対象に、生産管理、在庫管理等の改善の支援や、生産管理システム、販売管理システム等の情報システム導入の支援を行っている。課題解決の際に、解決策等を考える上での前提となる現状把握を得意としている。



カリキュラム概要

第1回

工場管理者の役割

6月17日(水)～19日(金)

- 1.工場管理者の役割
工場管理者に求められる役割と能力
生産管理の基礎知識
生産現場における問題解決の考え方
- 2.5Sの進め方
5Sの意義と目的
5Sの実践と留意点
- 3.ゼミナール・オリエンテーション
ゼミナールの進め方の説明

第4回

原価管理

9月16日(水)～18日(金)

- 1.生産管理のスキル②「原価管理」
原価の仕組み
原価計算と原価管理
コストダウンのアプローチ法
事例研究
- 2.中小企業支援施策の活用法
中小機構の実施する支援施策の活用法
- 3.ゼミナール ③
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第2回

生産現場の改善手法

7月22日(水)～24日(金)

- 1.生産現場の改善手法
現場改善の目的と考え方
現場改善と目で見える管理
改善活動を定着化させる取り組み
- 2.ゼミナール ①
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第5回

納期管理

10月21日(水)～23日(金)

- 1.生産管理のスキル③「納期管理」
納期管理の基本
生産計画の立て方
工程管理とリードタイム短縮
事例研究
- 2.ゼミナール ④
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第3回

品質管理

8月26日(水)～28日(金)

- 1.生産管理のスキル①「品質管理」
品質管理の体系と手法
統計的品質管理の進め方
QC7つ道具の活用方法
事例研究
- 2.ゼミナール ②
生産現場の改善策の立案(自社演習)

第6回

生産性向上策

11月18日(水)～20日(金)

- 1.事例で学ぶITを活用した生産性向上策
生産管理を行う上で必要なITの基礎知識
生産現場でのITの活用策
IT活用による生産性向上策(事例)
- 2.ゼミナール ⑤
生産現場の改善策の立案(自社演習)
- 2.ゼミナール ⑥
研究課題発表会

受講者の声(九州校 第2期)



株式会社ミートクレスト
製造部 部長 吉武 泰史 さん

◆受講動機

より良い工場運営を実現するために、管理者としてのスキルを高めたいと考えていたところ、会社から本コースの紹介を受け、内容に強く関心を持ち受講いたしました。

◆実際に受講した感想

今回の工場管理者研修を通じて、問題や課題解決するための自身の選択肢の幅がひろがったことと、既存の課題をより深く掘り下げられたという2つの成果を得ることができました。

研修中には、課題達成するための目的をもったQCサークル活動を立ち上げることができ、受講前には考えてもいなかった取り組みを実

現できています。

今後は、研修で学んだことを日々の業務に活かし、仕事の進め方を見直すことで、部内の仕事への向き合い方の変化をさらに促していきたいと考えています。研修で得た経験を最大限に発揮し、より良い職場づくりにつなげてまいります。

◆受講推薦の言葉

ただ問題と答えを教えていただくのではなく、その仕組みや実行までの進め方を、受講者それぞれの課題に合わせて導いていただけます。全6回の研修を終えた今は、「水与えられるのではなく、水のつくり方を教わった」と感じています。

会社(上司)から「行きなさい」と言われて参加した方も多くいらっしゃいましたが、終了後には皆が「来てよかった」と口をそろえていました。私自身もこのような貴重な経験をさせていただき、心から感謝しています。この研修は、自身や組織の課題解決に必ず役立つかと実感しています。